

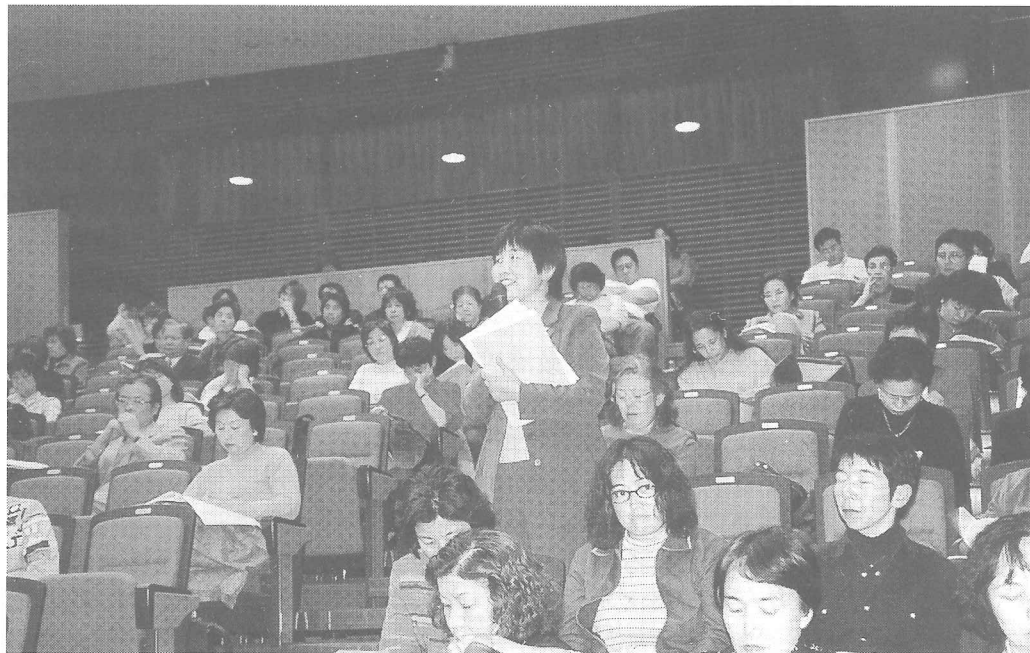
# 参加システム

2002

市民社会を拓く理論と実践のために

12月号

Vol.2 No.9(通巻19号)



11月13日に開催された、基礎研究会フォーラム『参加型システム』の社会化に向けて定義を試みる(21世紀の市民社会を拓くためにPART1)にて(記事p7)。

政治とお金	友沢ゆみ子	2
セミナー日本にはなぜ大都市政策がなかったか	船橋成幸	3
DVを許さない社会をめざして	各務晴美	6
基礎研究会フォーラム報告		7
参加を拓く“ツール”20		
モノとヒトとの関係をつくりなおすツールとしての地域通貨	贄川恭子	8
かながわNPO大学2002年秋期講座を振り返って	石上恵子他	9
かながわNPO大学受講生からのレポート		10
研究所だより		10
ローカルパーティ・NPO支援情報		
二宮町の町議・町長選報告	小笠原陶子	11
地域調査を実施「焼却炉再開」の是非を問う	仙田みどり	12
「基本政策ステップアップ講座」で応用問題に強い候補者を	前田陽子	12
W.Co「藤」の「デイハウス藤の花」の試み	鷺尾公子	13
参加型組織の事務局とは	野中美保子	13
21世紀は「水の世紀」、安心・安全の水政策の実現に向けて	市橋綾子	14
DPI世界会議札幌大会と大会参加者が語ったアジアの福祉事情	堀弘子	14
住基ネット	宗形もと子	14
海外視察に参加して	敷田信代	15
参議院千葉選挙区補欠選挙を終えて	清水友美子	15
図書紹介『ジェンダー活動は効果あり』	大串文子	16
研究所からのお知らせ／研究所に届いた書籍・資料一覧		16